

令和5年度 第2回 政策調整会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和5年5月23日（火） 10：00～10：20
 - ◆開催場所：第2委員会室
 - ◆出席委員：堤副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長
 - ◆説明者：田中企画課長、大山分権担当主幹、勝元主査、森田主任
-

◆審議事項

令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉1点目に、最も重要だと思っているのは木材コンビナートとスポーツドーム跡地等。岸和田市の臨海部は平成9年にカンカンができたころに開発してから長期間経過している。「将来ビジョン・岸和田」では海から山までの多様な地域資源を活用した連携型都市構造の創造を謳っているため、新たな展開として実現していきたい。とりわけ木材コンビナートは特に力を入れてほしい。令和4年12月には、「大阪のまちづくりグランドデザイン」に、「成長・発展をけん引する拠点エリア」のうち「大阪の中核を担う拠点エリア」として、また「経済成長を促す産業拠点・集積エリア」として「木材港地区」が位置付けられている。また、大阪府議会でも質疑が交わされ、大阪府も本格的に埋立に向けた調査を始めた。ここ数年、強力に働きかけてきた成果がようやく出てきている。今後、北陸新幹線の新大阪までの延伸も動きがありそうなので、埋立に向け一気に動き出すための準備を怠らないように。久しぶりの大規模開発になるので、岸和田市の100年後をめざして積極的に推進できるようよろしくお願ひしたい。埋立後のまちづくりについても、要望先に大阪府商工労働部も加えた。これから強く働きかけていってほしい。スポーツドーム跡地とアクアパークのエリアについては、既にある土地の利活用なので、港湾法の一部改正による新たな制度を活かし、民間と連携し、新たな賑わいづくりに向け動いてほしい。国や大阪府に財源的余裕のある今、力を入れて進められるよう強く求めていくこと。

2点目に、泉州山手線について。昨年度の「山直東」開設、バスの運行開始など最大の課題となっていた沿道のまちづくりは円滑に進んでいる。また、「大阪のまちづくりグランドデザイン」に、「泉州山手線の整備」が明記されており、大阪府も力を入れている。また、本市から大阪府に人材を派遣し、国から本市へ派遣もしてもらっているので、道路整備、沿道まちづくりを更に前に進めたい。大阪府の都市整備部道路室道路整備課に強く働きかけること。

3点目に、岸之浦大橋の4車線化について。これはすぐにでも進められるものであり、昨年、大阪府が策定した「大阪“みなと”ビジョン」にも「防災機能の強化」が謳わ

れている。最近、地震も頻発しているため、大阪港湾局には防災機能の強化の観点から早期に実現するよう求めること。

4点目に、田治米畑町線について。順調に動いており、インフラが弱いという本市の課題を解消するものなので、ぜひとも引き続き必要額の予算確保をお願いしたい。

〈教 育 長〉貯木場の埋立後の有効活用に向け、大阪府商工労働部を要望先に追加したことは良いと思う。

〈財 務 部 長〉阪南2区は大阪府の事業、蜻蛉池公園は大阪府営なので国には要望しないということか。

〈分権担当主幹〉そのとおり。

〈総 務 部 長〉ため池の維持管理について、ため池周辺は宅地開発しているところが少なからずあり、長年の土地の浸食で宅地の部分にひずみが生じており、現在、総務管財課にも数件、相談がある状況。形式上は管理者が市長だが、実態は財産区ということで地元が管理者になっており、資金難で補修のお金を手当てできていない。このまま放置すると宅地の住民に多大な被害が生じかねないため、強く要望をお願いしたい。

〈堤 副 市 長〉「位置図」について。岸之浦大橋の位置がわかりやすいよう赤で示しておくこと。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和5年5月 22 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和6年度の予算編成に向け、国家及び大阪府に対し、本市独自の重要課題について要望活動を行うにあたり、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第9号(国、大阪府等に対する要望、意見等に関する事項)に基づき付議するものです。
説明者	田中企画課長 大山分権担当主幹 勝元主査 森田主任
付議事項の概要	様式別紙に記載

別紙

付議会議	令和5年度 第2回会議
付議事項	令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について

★取組の目的

対象	国及び大阪府
どのような状態を目指す	国及び大阪府の予算に対する本市の要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、要望内容が可能な限り実現されることで、本市の施策・事業の推進と市民生活の向上をめざす。

★総合計画上の位置付け

6020202	基本目標	みんなで作る持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

<現状>
国及び大阪府の厳しい財政状況により、国及び大阪府から本市への補助金の減少が懸念されるほか、本市における大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

<課題>
国及び大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して国及び大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費	計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	0			0	0	0	0	0	

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値					
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。